

結びつきを強めるアジア

欧米の経済低迷が懸念されていますが、これまで成長路線だったアジアは今後どうなるのでしょうか？

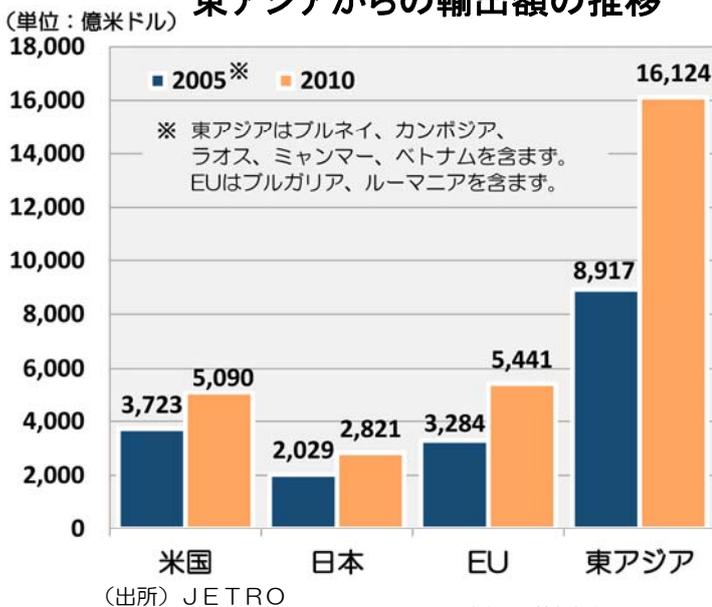
東アジア（中国、韓国、香港、台湾、およびASEAN（東南アジア諸国連合））の輸出金額を2005年と2010年で比較すると、東アジア向けは8,917億米ドルから1兆6,124億米ドルと大きな伸び（+81%）を示しています。中国や、ASEAN向けの貿易が活発化し、輸出金額が大きく増加したことが背景にあります。

この背景にはアジア諸国の設備投資や個人消費の拡大のほか、アジア域内の連携強化などがあります。

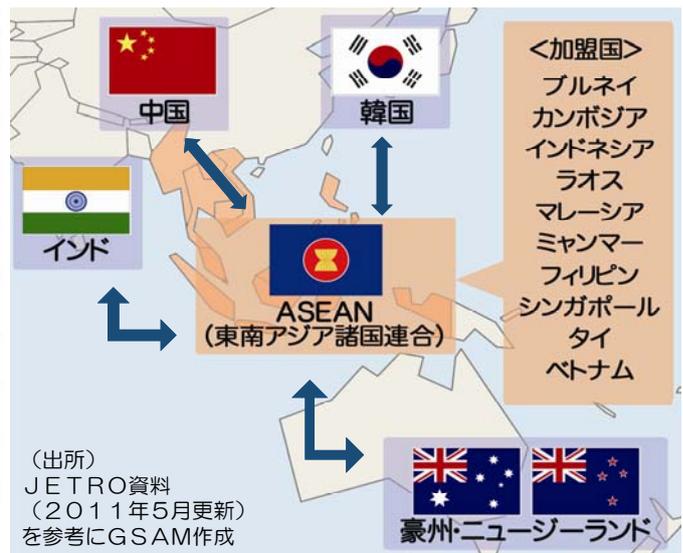
たとえばASEANでは域内だけでなく、2009年には対インド、2010年には対中国など成長著しい近隣諸国との積極的な経済連携協定（EPA）や自由貿易協定（FTA）を進めています。また、環太平洋経済連携協定（TPP）の交渉も行われるなど、アジア全体を巻き込んだ連携が強まりつつあります。FTAやTPPが発効されれば関税が撤廃されるため、貿易は一層活発化し、アジアの経済成長に大きく貢献すると予測されています。

内需拡大による経済の伸びに加え、経済の相互連携を強めることで、アジアは今後も世界経済での存在感を高めていくことでしょう。

東アジアからの輸出額の推移



ASEANの主なFTA



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると判断した情報等に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料の一部または全部を、(I)複写、写真複写、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。<審査番号:60850.OTHER.MED.OTU>
© 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.